

特集

図書館は知の扉
-好奇心がつなぐことばの世界-



左上から時計まわりに：中央図書館外観、4階閲覧席、2階雑誌架と閲覧席、レファレンスルーム書架、2階新着図書コーナー

CONTENTS

- 特集 図書館は知の扉 -好奇心がつなぐことばの世界- 商学部教授 高松 英樹
- 「冬の選書フェア」を実施しました
- 学部長おススメの一冊
- 国連 SDGs 企画展「フェアトレード展～フェアトレードの過去・現在・そして未来へ～」を開催
- 新取資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録 (2024.10～2025.4 収集分)

図書館は知の扉

—好奇心がつなぐことばの世界—

商学部教授 高松 英樹

中央大学に入ったばかりの新生の皆さん、そして、大学生活をおう歌している在学生の皆さん、あなたに[?]って、図書館は身近な存在になっていますか。

レポート作成、もしくは、テスト勉強やゼミ発表の準備、はたまた、食後のちょっとした一息のためだけに図書館を利用していませんか(まあ、それでも、来館してくれるなら、まだ、良いんですが…)。

でも、図書館の本当の魅力は、単にレポートや発表のための資料や答えを探すことだけでは気づかない、知の探究のための扉がいろんなところに隠されていることなのです。

今回はいくつかの書籍を紹介しながら、言語学という学問の面白さ、そして、図書館で本と出会うことの意味を考えていきたいと思います。

言語学のネタはあらゆる ところに落ちている

—川添愛『言語学バーリ・トゥード』

私が専門とする「ことば」にまつわる世界には、学部や学科、学年を問わず、皆さんの知的好奇心をくすぐる様々な発見や問いが潜んでいます。

言語学とは、ことばがどのような仕組みを持っていて、社会や文化の中でどのように機能しているのかということを科学的に探究する学問です。

皆さんも、様々な地方出身の友人や、世代の違う後輩や先輩、そして、親や親せきのおじさんおばさんと話している時、そ[?]

て、マスメディアに日々登場する新製品や流行語などを見聞きして、何か違和感を覚えたことはあるでしょう。また、外国語を勉強している時、発音が難しいなとか、何でこん

な活用が多いんだよ、名詞に男性女性の区別があるって何だ[?]、どうして英語と違う文字を使うんだよ、などと不満が爆発寸前の人も多いかもしれません。しかし、こうした違和感や疑問(そして、不満)を持つことが、すでに、言語学

探求の扉を開ける鍵を持っていることになるのです。

そんな言語学の懐の深さを軽快なタッチで紹介しているのが、川添愛の『言語学バーリ・トゥード Round1』『同 Round 2』。これは川添が東京大学出版会の広報誌『UP』に連載している文章を中心に取めた書籍。

「バーリ・トゥード」はポルトガル語で「なんでもあり」という意味で、プロレス好きの川添によると「ルールや反則を最小限にした格闘技の1ジャンル」とのこと。これを本書の名前に採用したのは、編集者[?]ら「何を書いてもいいですよ」と言われたからだそうです。

そのタイトルにたがわず、実に様々なトピックが取り上げ



川添愛著

『言語学バーリ・トゥードRound 1, 2』

東京大学出版会 2024



られていて、例えば、「AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか」という、一見、突拍子もない出発点から、言語の本質にアプローチする手法は圧巻。川添の魅力は何と言っても、その着眼点(やや格闘技系が多いが)で、所々に見え隠れする知性と、注釈にちりばめられた研究者らしいフォローや参考文献に、笑いながらも、大いに学べます。「あたらしい娯楽を考える(R1)」や「重言パラダイス(R2)」などは、是非、本書を見かけたら、読[?]でみてください。

ことばを使うのはヒトだけか?

——鈴木俊貴『僕には鳥の言葉がわかる』



鈴木俊貴著

『僕には鳥の言葉がわかる』

小学館 2025

言語学はヒトの話すことばのみを対象とするというのはひと昔、否、ふた昔くらい前の話で、今は、「ヒト以外の動物」も言語を使うというのが言語学の新潮流。

イルカやクジラ、ゾウなどの哺乳類がことば(らしきもの)を使ってコミュニケーションを取っているのではないかということはずっと研究されてきたのですが、鈴木俊貴は『僕には鳥の言葉がわかる』の中で、シジュウカラの鳴き声に「意味」と「構造」が存在していることを科学的に探ろうとしています。

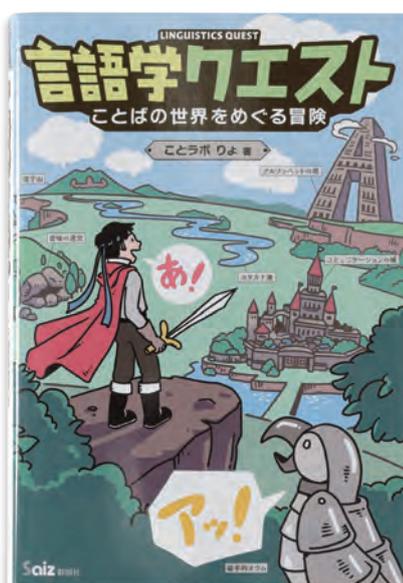
鈴木が言語を、生命の進化、社会性、コミュニケーションの根本に関わる手段として捉えている姿は、同じ研究者として、正直、あこがれすら覚えます。私のようにスペイン語が分かる日本人なんて、掃いて捨てる程いるけど、鳥のことばが分かる鈴木[?]唯一無二の存在で、そんな研究者が書

く本が面白くない訳がない。

鳥が使っているのが単なる本能的な鳴き声ではなく、いわば文法を持った言語であることを科学的に証明するために編み出された数々の実験に、鈴木のおくなき探求心・好奇心が見えます。シジュウカラの「言語」には方言があったり、他の鳥の「単語」を取り入れて使うことができるそうです。これは、日本語と英語を混ぜた、「藪からスティック」のような、いわゆる「ルー語」と同じ発想だと鈴木は考えます。

言語学を冒険する

——『言語学クエスト:ことばの世界をめぐる冒険』



ことらぼりよ著

『言語学クエスト:ことばの世界をめぐる冒険』 彩図社 2024

ここまで読んできた読者諸氏は、言語学が机上の学問でなく、その探求のヒントが実生活のいたるところに落[?]ていて、しかも、その対象がヒトの言語に留まらないことが分かったはずです。言語を探求するのは、さながら、五里霧中の森の中を手探りで進んでゆく冒険のような面白さがあるのです。

ことらぼりよの『言語学クエスト:ことばの世界をめぐる冒険』はまさにそんな思いの詰まった本です。本書は「音の草原」「意味の迷宮」「コミュニケーションの城」などのCHAPTERに分かれていて、ロールプレイの主人公になった読者は言語学の基本的な考え方をダンジョン的舞台の中で身につけてゆくという構成です。

言語に文化が反映する

——スペイン語圏の例から



『しあわせ気分のスペイン語』

NHK出版

2024年4月号～2024年9月号

言語は文化と切り離しては理解できません。私の専門であるスペイン語と文化の結びつきについて取り上げている **?** が、かつて私がNHK出版の『しあわせ気分のスペイン語』に連載していた「こちらスペイン語研究所(ラボ)」です。

スペイン語で「おはよう」は「Buenos días」と言いますが、これは、直訳すれば「良い」+「日」 **?** という意味なので、このあいさつには「今日一日が良い日でありますように」という願いが込められていると言えます。

だから、日本語の「おはよう」の根底に流れる「朝早くから、ご苦労様です」という相手をねぎらう意識は、少なくとも、スペイン語の「Buenos días」には、言語の表現としては出てきません。

朝のあいさつをひとつ取っても、その裏にある意識は言語によって大きく違うのです。似たような関係は英語の「Good morning」と「おはよう」にも確認できます。

もうひとつ、今度は、別れのあいさつの例を挙げてみましょう。日本語では、英語からの借用表現「バイバイ」が一般的ですが、他にも「さようなら」というあいさつがあります。これは、語源的には「そうであるなら」という接続表現であり、この「そう」とは「相手と別れることになった運命を受け入れる」ということのようにです。一方、スペイン語は「Adiós」と言いますが、こちらは語源的には「神 (Dios) + に (a)」で、「あなたの道中の安全を神にお任せします」という考

えが根底にあるため、日本語の「さようなら」とは全く異なるスタンスなのです。

今、勉強している外国語のことを、こういう視点でとらえ直してみると、いろいろな発見があるはずです。言語の勉強を単なる単語や文法の暗記ととらえないための様々なヒントをちりばめたつもりです。是非、お手に取ってみてください。

今回紹介した本や連載は、図書館にあることば関連の資料のごく一部にすぎませんが、言語学の専門書から始まり、文化論を扱ったエッセイや雑誌など、図書館には新しい発想をはぐむためのヒントが至る所に転がっています。

浮気のすすめ!?

図書館の棚を見ながら歩いている時、あなたの目に何かのタイトルや装丁が突然、飛 **?** 込んできたことはありませんか。実は、これは、本から皆さんに向けたラブコールなんです。本にこんな風に見初められた幸せ者のあなた、この健気な告白をむげにせず、是非、その本を手にとってあげましょう。その数秒の手間を惜しみ、せっかくの出会いを無駄にするのはもったいない。その本と濃密な時間を過ごすか、それとも、ソコウで別れるかは、まずは本を開いてか **?**、あなたが決めれば良い。

あなたの将来を決定づける本命となる1冊と出会うことも図書館の醍醐味ですが、たくさんの本といろいろな関係を持つことも大切です。読書の世界での浮気は大歓迎なので、私は、皆さんが、在学中にできるだけ多くの知の扉を開けることを願っています。



おまけ

- ①本文中の **?** 部分に入るであろう文字を復元し(前後の文脈から正しい文字を復元できるってすごいと思いませんか)、これを上から拾い読みしてみましょう。
- ②この文章の中で紹介した著者名や出版社名「川添(Kawazoe)」、「こたらぼ(Kotorabo)」、「鈴木(Suzuki)」、「NHK出版(NHK shuppan)」の頭文字の子音に適当な母音を入れると、本文中にも現れた、皆さんが「知の探究に必要な鍵が浮かび上がってきます。さて、何でしょう。

「冬の選書フェア」を 実施しました



2025年12月8日(月)～12日(金)、「冬の選書フェア」を実施しました。
過去に実施した近隣の書店で行う「選書ツアー」とは打って変わり、今回は日本ライブラリー出版会のご協力のもと、中央図書館内での「巡回図書展示会」という形で、展示図書から学生に選書してもらうという企画実施に至りました。

当日の様子

結果&その後

学生に加え、教職員も対象とした今回のフェアでは、実際に図書を手に取りながら、「図書館に置きたい」と思ったものに選書カードを挟んでもらいます。

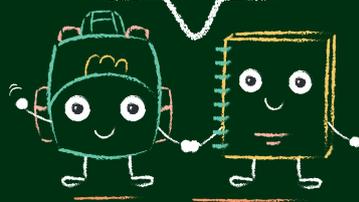
当日は、日本ライブラリー出版会に属する出版社をはじめ、有名出版社15社を含む計22社から、中央図書館で所蔵していない図書を中心に、新刊本やイチ押し本の実物を一堂に展示いただきました。その数は、合計1,500タイトルと大変充実したものでした。

5日間の会期で延べ235名にご参加いただき、投票総数約1,400票、771タイトルの図書が皆さんによって選ばれました。最終的に、図書館の予算などとの兼ね合いから111タイトルを購入することとなりました。

対象の図書は購入後、資料の登録手続きを経てから、2026年3月より、中央図書館2階にて展示。館外貸し出しも可能となっておりますので、ぜひお手に取ってみてください。



ご参加いただいた利用者の皆様、
ご協力ありがとうございました！
今後も図書館企画による各種イベントに
ご期待ください！



参加者の声
01

自分が選書された本が図書館に並ぶのが待ち遠しいです！

★商学部・2年

参加者の声
02

選んだ本が図書館に置かれるかもしれないと思うと、選ぶのもさらに楽しかったです。

★経済学部・1年

参加者の声
03

様々なジャンルの本が置いてあって、面白かったです。

★総合政策学部・2年

参加者の声
04

司書課程の科目を履修しているのので、実際に自分で選書する体験ができ、とても良かったです。

★商学部・2年

参加者の声
05

実際に手に取って、自分で見て選書できる体験は面白かった。

★文学研究科・大学院生

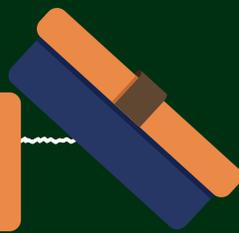
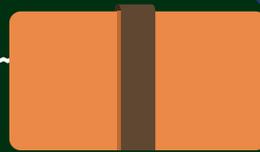
※参加者の所属学部、学年は実施時のものです



★参加出版社

朝倉書店 / NHK出版 / ★河出書房新社 / 技術評論社 / 近現代史料刊行会 / 作品社 / ★三省堂 / ★清水書院 / 新星出版社 / すいれん舎 / 創元社 / 大修館書店 / 東京大学出版会 / 農文協 / パイ・インターナショナル / ★平凡社 / ★ベレ出版 / 法蔵館 / ★丸善出版 / みすず書房 / ★ゆまに書房 / ★吉川弘文館

(★:日本ライブラリー出版会) (順不同・敬称略)



学部長おススメの一冊

学生の皆さんにおススメしたい図書を1冊選んでいただきました。中央図書館、理工学部分館、法学部図書館、国際情報学部図書室で展示を予定しています。

法学部長 遠藤 研一郎 教授



『ある法学者の軌跡』

川島武宜 著 有斐閣 1978年



本書は、川島法学を知るための重要な資料ですが、同時に、良き大学があった最後の時代の代表的な研究者の記録であると、私自身は捉えます。筆者の門下の平井宜雄先生から私がお伺いした、本書作成のエピソードは割愛せざるを得ませんが、時代を超えて、「知る」ということへの熱量と尊さを感じてほしいです。

所蔵 開架 320.4/ka97、法 B2 320.4/ka97



経済学部長 後藤 孝夫 教授



『自助論－自分に負けない生き方－』

サミュエル・スマイルズ 著／竹内均 訳 三笠書房 1995年



大学生活という自由な時間の中で、不確実な未来に不安を抱くこともあると思います。そんな時、人生の指針となるのが『自助論』です。「天は自ら助くる者を助く」の精神は、自立の勇気と勤勉の重要性を説いています。社会が激変する今、自分の手で将来を切り拓くための「一生のバイブル」として、一読をお薦めします。

所蔵 開架 159/sm4



商学部長 奥山 英司 教授



エンデ全集3『モモ－時間どうろうぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語－』

ミヒャエル・エンデ 著／大島おかり 訳 岩波書店 1996年



児童文学に分類される作品ですが、将来に向けて思考を深める大学生だからこそ手に取ってほしい一冊です。「タイパ」という言葉が広く使われ、効率や速さに追われがちな現代社会において、本書は本当に豊かな時間とは何かを鋭く問いかけます。経済活動や働くことについて、大人になった今だからこそ得られる気づきがあるはずです。

所蔵 中央書庫 948/E59、独文 948/E59



理工学部長 庄司 裕子 教授



『選択の科学－コロンビア大学ビジネススクール特別講義－』

シーナ・アイエンガー 著／櫻井祐子 訳 文藝春秋 2010年



「選ぶこと」が私たちの思考や行動にどのような影響を与えるのかを、心理学の実験を通して分かりやすく示してくれる名著です。選択肢は多いほど良いわけではなく、選択をツールとして使いこなすことが重要だという指摘は心に響きます。進路や学び方など多くの選択に直面する大学生にとって、自分らしい決断とは何かを考えるヒントになる一冊です。

所蔵 開架 361.4/I97、総合政策 361.5/I97、社会情報 361.5/I97



文学部長 緑川 晶 教授



『まちがえる脳』

櫻井芳雄 著 岩波書店(岩波新書) 2023年



私たちの心を支えている脳の仕組みを知ることによって、私たちの考えや判断のクセを知ることができます。その一つが本書の主題でもある「間違える」ということです。もちろん間違えは困りものですが、実は間違えることが私たちの心の本質であり、創造性などにも貢献している、という発想の転換を促してくれる一冊です。

所蔵 開架新書 岩波新書 / 新赤 -1972、法開架小型 491.371/Sa47



総合政策学部長 堤 和通 教授



『レ・ミゼラブル(改版)』(全4巻)

ユーゴー 著／豊島与志雄 訳 岩波書店(岩波文庫) 1987年



フランス革命から19世紀半ばに至る激動の時代を舞台に、それを生きた作者が描く物語は、ストーリーの展開に合わせ、刑罰や司法制度の詳細についての解説があり、罪とは何か、罰とは何か、世俗国家の力と人間の情愛や信仰の力とはどのようなはたらきをするのか、という問いに向き合わせてくれます。

所蔵 中央小型 953/H98、開架文庫 岩波文庫 / 赤 -531-1



国際経営学部長 木村 有里 教授

『深夜特急』(1～6巻)

沢木耕太郎 著 新潮社(新潮文庫) 2020年



20代、自分の中の地平線をぐっと押し広げるとき、旅は最も有効な手段です。『深夜特急』は多くの若者を世界へ誘ったバックパッカーのバイブル。私もこの本を手に出た一人でした。もし、いま大学生に戻れるなら、もう一度あの彷徨うような旅がしたいな。切れ目なく続く世界を歩き続けたらどこに行きつくのか——最終章の最後の一行が胸に刺さります。



所蔵 開架文庫 新潮文庫 / さ -7-51 ~ 56、
法開架小型 915.6/Sa94



国際情報学部長 石井 夏生利 教授

『法と社会科学をつなぐ』

飯田高 著 有斐閣 2016年



人が行う意思決定は与えられた環境や他者との関係、心理状態などによって変動し、そのことは社会のルール形成のあり方に大きく影響します。本書は、経済学、社会学、心理学の様々な概念を用いながら具体例とともに法との関わりを解説した良書です。1つのテーマが短くまとめられていますので、興味のある部分から紐解いてみてください。



所蔵 開架 321.3/126、iTL 321.3/126、
法開架 321.3/126



所蔵場所について

多摩キャンパス 開架・開架新書・開架文庫・中央小型：中央図書館4階、中央書庫：中央図書館書庫、独文：独文学研究室、社会情報：社会情報学研究室、総合政策：総合政策学部図書室
市ヶ谷田町キャンパス iTL：国際情報学部図書室
茗荷谷キャンパス 法開架・法開架小型：法学部図書館4階、法B2：法学部図書館地下2階書庫
※各館室で利用対象・方法が異なります。詳細は図書館HPでご確認ください。

※掲載されている役職名は2026年3月末時点のものです

国連SDGs企画展

「フェアトレード展～フェアトレードの過去・現在・そして未来へ～」を開催

中央大学図書館国際機関資料室では、2025年12月8日(月)から2026年1月15日(木)まで、FACT(中央大学フェアトレード委員会)との協働による「フェアトレード展～フェアトレードの過去・現在・そして未来へ～」を開催しました。FACTは、中央大学の学生団体で、フェアトレードの普及と啓発・啓蒙を目指しています。今回の展示ではフェアトレード活動の歴史、現在の取り組みや課題などを通じ、未来を考えていくことに焦点を当てました。



展示では、1970年代からフェアトレード活動を行っている団体の紹介を通じ、フェアトレードの過去・現在・未来を学べるコーナーを設けました。



また、FACTが図書を選定し、紹介文を添えて展示したほか、バッグやマスコットなどの雑貨やサッカーボール、タオルなど、様々な種類のフェアトレード商品を紹介しました。

さらに、フェアトレード商品を手に取って見ることが出来るコーナーや、フェアトレードクイズ、来場者との意見交換ができるホワイトボードの設置など参加型の展示も行いました。



見学者からは、「フェアトレードに関連する人権や平和の問題にも触れることができた」「実物のフェアトレード商品を見ることで、身近に感じる事ができた」「フェアトレードについても、商品についても学ぶことができた」という意見が寄せられ、フェアトレードの過去・現在を学ぶことで未来について考える展示となりました。

新収資料紹介

教職員著作目録 2024.10 - 2025.4 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	出版年月	所蔵館	書誌番号
青木 裕子 (法) ほか	編著 スコットランド常識学からプラグマティズムへ：英米思想史と哲学史の再構築	晃洋書房	2025.2	中央館 / 法学部	BB01722037
李 奕煥 (総) 文 純真 (商) ほか	編著 韓国・朝鮮の近現代史と日本 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 33)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / 総政	BB01724653
井田 良 (法務)	著 入門刑法学 各論 第3版 (法学教室 Library)	有斐閣	2024.12	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01719028
井田 良 (法務), 鈴木 彰雄, 高橋 直哉 (法務), 只木 誠 (法), 谷井 悟司 (法), 曲田 統 (法), 安井 哲暉 (法)	著 刑法ポケット判例集 第2版	弘文堂	2025.3	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01724032
大岡 知徳 (戦略)	著 グラフィック経営戦略論 (グラフィック経営学ライブラリ 3)	新世社	2024.12	中央館 / BS	BB01718292
遠藤 研一郎 (法)	著 教養としての「民法」入門 = Civil law	日本実業出版社	2025.2	中央館 / 法学部 / ITL	BB01721971
伊藤 靖史, 大杉 謙一 (法務) ほか	著 会社法 第6版 (Legal quest)	有斐閣	2025.3	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01724426
大野 一進 (名)	著 ミュゼ入門：(決定版)：要 / 宗教 / 歴史	藤原書店	2024.10	中央館	BB01715859
岡嶋 裕史 (国情)	監修 ピンチを救うスマホ活用術 (生活実用シリーズ NHK 趣味どきっ! IMOOK)	NHK 出版	2024.9	ITL	BB01711815
岡嶋 裕史 (国情)	著 岡嶋裕史の情報 I 基本用語 256+ExtraMission16 : 高校学参	技術評論社	2024.10	ITL	BB01713627
岡嶋 裕史 (国情)	監修 70歳からのスマホ・LINE : 世界一わかりやすい安心・安全・便利な使い方 Q&A 大全	文響社	[2024]	ITL	BB01713630
岡嶋 裕史 (国情)	著 情報処理安全確保支援士合格教本 令和07年 <春期> <秋期>	技術評論社	2024.12	ITL	BB01719024
岡嶋 裕史 (国情)	著 ITパスポート合格教本 令和07年	技術評論社	2024.12	中央館 / ITL	BB01719023
岡嶋 裕史 (国情) ほか	著 応用情報技術者合格教本 令和07年 <春期> <秋期>	技術評論社	2024.12	ITL	BB01719025
岡嶋 裕史 (国情)	著 情報セキュリティマネジメント合格教本 : 科目 A 科目 B 令和07年	技術評論社	2024.12	中央館 / ITL	BB01719022
岡嶋 裕史 (国情)	講師 70歳からのスマホまねるだけ講座 (扶桑社ムック)	扶桑社	2024.12	ITL	BB01719026
日本放送協会, NHK 出版 岡嶋 裕史 (国情)	編集 講師 コッソリスマホの達人 (NHK テキスト NHK 趣味どきっ!)	NHK 出版	2025.2	ITL	BB01721873
岡嶋 裕史 (国情)	著 岡嶋裕史の情報 I が基礎からわかる。高校学参	技術評論社	2025.4	ITL	BB01724394
梶田 幸雄 (法)	著 国際仲裁裁判制度改革の重要論点：中国仲裁法改正との関連で = Key issues in international arbitration reform	日本評論社	2025.3	法学部 / LS	BB01723910
片桐 正俊 (名)	著 米国租税政策・税制展開の財政学的考察：プッシュ(子)、オバマ、トランプ、バイデン政権下の租税財政分析	日本評論社	2024.11	中央館	BB01716736
岸 真清 (名) ほか	著 政府規制と地方創生：コミュニティの活性化に向けた提言	創成社	2024.10	中央館 / 法学部	BB01715958
中央大学人文科学研究所 近藤 まりあ (総), 山城 雅江 (総), 中尾 秀博 (文), 福士 久夫 (名), 大羽 良 (総), 加藤 木 龍文 (総) ほか	編 執筆 アメリカ文化研究の現代的展開 (中央大学人文科学研究所研究叢書 83)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / 英文	BB01723704
酒井 克彦 (法務)	著 クローズアップ課税要件事実論：要件事実と主張・立証責任を理解する 第6版改訂増補版	財経詳報社	2024.8	中央館 / LS	BB01714748
酒井 克彦 (法務) ほか	著 裁判例からみる相続税法 = Looking from trial example inheritance tax act 5訂版	大蔵財務協会	2024.12	中央館 / 法学部 / LS	BB01720006
坂田 聡 (名)	編 名主・文書・由緒・争論：京都近郊山間地域の中世・近世	小笠子社	2024.11	中央館	BB01718253
坂本 宏 (総)	編 近世ヒスパニック世界の諸相 (中央大学人文科学研究所研究叢書 84)	中央大学出版部	2025.3	中央館	BB01724651
佐久間 英俊 (商), 木立 真直 (商), 斯波 照雄 (名), 井上 真里 (商), 塩見英治 (名) ほか	編 著 グローバル競争の進展と流通・都市の変容 (中央大学企業研究所研究叢書 45)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / BS / ITL	BB01723700
斯波 照雄 (名)	著 日本の都市をめぐる：魅力ある都市づくりのヒント	学文社	2024.11	中央館 / 法学部	BB01718526
柴田 英樹 (総)	著 新西洋経済史入門：歴史と弁証法	学文社	2025.1	中央館	BB01721404
鈴木 俊幸 (文)	著 黒屋重三郎 (平凡社新書 1067)	平凡社	2024.10	中央館 / 国文	BB01715648
鈴木 俊幸 (文)	監修 黒屋重三郎：時代を変えた江戸の本屋 (別冊太陽 日本のこころ 319)	平凡社	2024.11	中央館 / 国文	BB01715585
鈴木 俊幸 (文)	著 本の江戸文化講義：黒屋重三郎と本屋の時代	KADOKAWA	2025.1	中央館 / 国文	BB01720993
鈴木 俊幸 (文)	著 「黒屋版」の世界：江戸庶民は他に熱狂したか (NHK 出版新書 737)	NHK 出版	2025.2	中央館 / 国文	BB01721723
ベツティナ・ハイダーホフ 鈴木 博人 (法), マーク・デルナウア (法)	著 編訳 ドイツ家族法・デジタルコンテンツ法の現代的課題 = Aktuelle Probleme im deutschen Familienrecht und im Recht der digitalen Inhalte (日本比較法研究所訳叢書 89)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01723068
関野 浩夫 (名) 片桐 正俊 (名) ほか	編 著 日本財政の現状と課題 (中央大学経済研究所研究叢書 84)	中央大学出版部	2024.11	中央館	BB01716093
高橋 豊治 (商), 建部 正義 (名), 奥山 英司 (商), 石島 博 (法務) ほか	編 著 世界金融危機後の金融システム：各国の金融制度・金融規制・金融政策の比較研究 (中央大学企業研究所研究叢書 44)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / BS	BB01723697
「日本の人事部」編集部 高村 静 (戦略) ほか	企画・調査・分析・編集監修 日本の人事部人事白書 2024	HR ビジョン	2024.7	中央館	BB01723758
滝沢 誠 (法務) ほか 井田 良 (法務), 只木 誠 (法) ほか	著 Aktuelle Probleme im Allgemeinen Teil des taiwanesischen, deutschen und japanischen Strafrechts (日本比較法研究所研究叢書 138)	中央大学出版部	2025	中央館 / 法学部 / LS	BB01724859
田口 善弘 (理)	著 砂時計の科学 (講談社学術文庫 2849)	講談社	2025.1	中央館 / 工学部 / 理工	BB01721065
田口 善弘 (理)	著 知能とはなにか：ヒトとAIのあいだ (講談社現代新書 2763)	講談社	2025.1	中央館 / 工学部 / 理工 / ITL	BB01721471
竹中 真也 (理)	著 パークリ 記号と精神の哲学	知泉書館	2024.8	哲学	BB01711806
只木 誠 (法), 佐伯 仁志 (法務) ほか	編 著 刑事法学の新たな挑戦 (甲斐克則先生古稀祝賀論文集 上巻)	成文堂	2024.10	法学部 / LS	BB01715562
只木 誠 (法), 佐伯 仁志 (法務) ほか 高橋 直哉 (法務) ほか	編 著 刑事法学の新たな挑戦 (甲斐克則先生古稀祝賀論文集 下巻)	成文堂	2024.10	法学部 / LS	BB01715566
田中 光 (総)	著 Micro-credit in modern Japan : an alternative financial system for sustainable development (Studies in economic history)	Springer	[2024]	中央館	BB01720188
田中 洋 (名)	監修 ブランディング (サクッとわかるビジネス教養)	新書出版社	2024.8	中央館 / 工学部 / BS	BB01711601
ミヒャエル・ザックス 土屋 誠 (法), 畑尻 剛 (名) 武市 周作 (法)	著 監訳 翻訳 ドイツ憲法訴訟法 (日本比較法研究所訳叢書 91)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / 工学部 / LS	BB01724621
マーク・デルナウア (法), 奥田 安弘 (名)	編 著 欧米諸国から見た日本法：多様な視点を探る (日本比較法研究所研究叢書 134)	中央大学出版部	2024.11	中央館 / 工学部 / LS	BB01717003
島田 伸好 (総), 松橋 透 (名), 村上 研一 (商) ほか	編 著 長期停滞下の現代資本主義：理論的・実証的・歴史的分析 (中央大学経済研究所研究叢書 83)	中央大学出版部	2024.10	中央館	BB01715649
中田 一郎 (名)	著 古代マリ王国の政治と宗教：パピロンに滅ぼされた悲運の王国 (中央大学学術図書 106)	中央大学出版部	2024.10	中央館 / 西史	BB01713729
中村 亨 (商)	著 かき乱す「黒人」の声：トゥーマー、アングソン、ウィングダム・ルイスとヘミングウェイ	論創社	2024.10	中央館	BB01716452
中村 博 (戦略), 野間口 隆郎 (国経), 三浦 俊彦 (商) 丹次 治 (名) ほか	編 著 東アジアにおける企業戦略と制度的環境：新制度派経済学と非市場戦略の視点から (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 32)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / 政策 / BS	BB01724205
晴子 博子 (総), 庵井 伸治 (総), 青木 裕子 (法), 奥平 晋 (職), 三船 敏 (総), 金 基 (商) ほか	編 著 ジェンダーと政治、歴史、思想の交差点 (中央大学社会科学研究所研究叢書 45)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / 工学部	BB01723707
新原 道信 (文)	編 著 惑星社会のフィールドワーク：内なる惑星とコミュニティに「出会う」 (中央大学社会科学研究所研究叢書 46)	中央大学出版部	2025.3	中央館 / 社会	BB01723695
ロトルー 橋本 基弘 (名)	著 翻訳 ロトルー作品集 (中央大学学術図書 105)	中央大学出版部	2024.7	中央館	BB01711766
橋本 基弘 (法)	著 表現規制と違憲審査の法理 = Freedom of speech, judicial review and democracy	中央経済社	2025.2	中央館 / 総政 / 工学部 / LS / ITL	BB01721978
塚田 修一, 松田 美佐 (文)	編 著 大学的多摩ガイド：こだわりの歩き方	昭和堂	2025.4	中央館 / 理工	BB01724620
三浦 俊彦 (商) ほか	編 著 ポップカルチャーによる地域創生のマーケティング：超える3年の壁!	千倉書房	2025.2	中央館	BB01723336
三船 敏 (総) 荒井 紀一郎 (総), 宮野 勝 (名) ほか	編 著 政治空間における諸問題：有権者、政策、投票 (中央大学社会科学研究所研究叢書 44)	中央大学出版部	2025.2	中央館	BB01723705
宮野 三樹 (総) ほか	著 教育の財政構造：経済学からみた費用と財源	慶徳義塾大学出版会	2025.1	中央館	BB01721388
宮下 修一 (法務) ほか	著 消費者法 = Consumer law 第2版	有斐閣	2024.11	中央館 / 工学部 / LS / ITL	BB01717611
森 いづみ (総)	著 国際学力調査からみる日本の教育システム：教育による「効果」と「格差」の計量分析	明石書店	2025.2	中央館	BB01722570
山田 昌弘 (文)	著 希望格差社会、それから：幸福に衰退する国の20年	東洋経済新報社	2025.1	中央館 / 社会 / 工学部	BB01720785

